

保険者努力支援制度に係る 茨城県保健事業の実施状況について

令和3年度 国民健康保険保険者努力支援交付金(予防・健康づくり支援)の支援対象事業

都道府県国保ヘルスアップ支援事業

国民健康保険被保険者の健康の保持増進に係る事業を支援することを目的として、県が共同保険者としての役割を積極的に果たすために実施する国民健康保険の保健事業。

- ・市町村とともに国保の共同保険者である都道府県が、区域内の市町村ごとの健康課題や保健事業の実施状況を把握。
- ・市町村における保健事業の健全な運営に必要な助言及び支援

事業区分	R3年度茨城県保健事業
A 市町村が実施する保健事業の更なる推進に資する基盤整備	重症化予防アドバイザー派遣事業
B 市町村の現状把握・分析	・医療・健康情報データベースの構築・分析事業 ・ビックデータを活用した健康づくり事業 (いばらき健康寿命日本一プロジェクト推進事業の一部)
C 都道府県が実施する保健事業	かかりつけ医及び地域の薬局と連携した保健事業
D 人材の確保・育成事業	県栄養士会との合同研修事業
E データ活用により予防・健康づくりの質の向上を図る事業	データヘルス計画の標準化に向けた現状把握・分析事業
F モデル事業(先進的な保健事業)	ICTを活用した糖尿病性腎症等重症化予防事業

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

1 重症化予防アドバイザー派遣事業（事業区分：A）

No.	項目	内容															
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師・栄養士等の保健指導スキルの向上を図ることで、受療勧奨対象者の医療機関受診率を向上させるとともに、治療中断を防止する。 ・アドバイザーの派遣により、市町村と医療従事者の連携を強め、協力・支援体制の強化を図る。 															
2	予算額	6,690千円															
3	参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者指導に携わる看護師、保健師及び管理栄養士等 ・アドバイザー派遣対象市町村（今年度新規：大子町 昨年度継続：北茨城市、高萩市、美浦村） 															
4	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の参加市町村 44市町村 ・研修会参加者の習得度 70% ・アドバイザー派遣によるフィードバックで示された市町村課題に対する取組率 100% 															
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>9月 アドバイザー派遣市町村（新規）の決定</p> <p>11月 大子町に対するアドバイザーの派遣、ヒアリング及びフィードバックの実施</p> <p>12月～令和4年3月 保健指導従事者研修会の実施（オンライン形式、計4回）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月</td> <td>重症化予防事業</td> <td>重症化予防の考え方、検査結果の読み方、治療薬について</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>未治療者対策</td> <td>未治療者への保健指導と効果評価の方法</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>治療中者対策</td> <td>治療中者への保健指導、治療中者対策対象者の抽出方法</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>事例検討</td> <td>指導前後、指導中の事例検討（検査値改善例、困難例等）</td> </tr> </tbody> </table> <p>②12月7日時点の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回保健指導従事者研修会の実施（12月7日） 参加者：市町村58名（17市町村）、医療機関2名、保健所1名、県栄養士会等関係団体4名 ※後日動画視聴も可 ・大子町へのアドバイザー派遣の実施（ヒアリング：11月2日、フィードバック：11月29日） 受診勧奨の実施方法、地域の医療機関との連携などに対する課題の整理と提案 	日程	テーマ	内容	12月	重症化予防事業	重症化予防の考え方、検査結果の読み方、治療薬について	1月	未治療者対策	未治療者への保健指導と効果評価の方法	2月	治療中者対策	治療中者への保健指導、治療中者対策対象者の抽出方法	3月	事例検討	指導前後、指導中の事例検討（検査値改善例、困難例等）
日程	テーマ	内容															
12月	重症化予防事業	重症化予防の考え方、検査結果の読み方、治療薬について															
1月	未治療者対策	未治療者への保健指導と効果評価の方法															
2月	治療中者対策	治療中者への保健指導、治療中者対策対象者の抽出方法															
3月	事例検討	指導前後、指導中の事例検討（検査値改善例、困難例等）															
6	今後の予定	<p>12月～令和4年2月 昨年度からの継続市村（北茨城市、高萩市、美浦村）に対するフォローアップセミナーの実施</p> <p>令和4年1月～3月 保健指導従事者研修会の実施（各月1回）と参加者アンケートのとりまとめ</p>															

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

2 医療・健康情報データベースの構築・分析事業（事業区分：B）

No.	項目	内容
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内市町村・二次医療圏毎の比較をするとともに、経年変化等を確認できるデータを提供することで、各市町村における健康課題と効果的な事業実施について明らかにする。 ・ 共通課題に対する被保険者への普及啓発や環境整備を推進する。
2	予算額	18,985千円
3	参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の国保被保険者 約67万人
4	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村の実態把握（県内44市町村） 100% ・ 分析結果提供（県内44市町村） 100% ・ 各市町村における保健事業への活用割合 80%
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>5月 検討会議（1回目）：令和2年度事業の実績報告、令和3年度事業開始についての助言指導</p> <p>6月 検討会議（2回目）：令和2年度事業の実績報告の追記事項について</p> <p>9月～令和4年1月頃 事業実施：データ構築・分析、治療中断者リスト作成等</p> <p>②提供予定データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度データ分析結果報告書（追記、修正：各種データについて、学会発表数値との突合せ等筑波大あて確認依頼） ・ 令和3年度データ分析結果報告書 ・ 市町村別比較分析結果 ・ 治療中断者（糖尿病・高血圧・脂質異常症）リスト
6	今後の予定	<p>12月～令和4年1月 検討会議（3回目）：データ構築・分析の中間報告、分析結果のまとめ方についての助言・指導</p> <p>令和4年1月～2月 報告会：データ分析結果の報告、市町村、関係課等への分析結果資料提供</p> <p>令和4年2月～3月 事業評価の実施：翌年度事業に向けた課題・改善点等のリストアップ</p>

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

3 ビッグデータを活用した健康づくり事業（事業区分：B）

No.	項目	内容
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸。 ・分析結果を保健事業へ反映し、生活習慣病の発症・重症化を予防することで、医療費適正化を図る。
2	予算額	371千円
3	参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンアプリ「元気アップ！りいばらき」を利用する県民 ・市町村国保（44市町村）
4	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村への分析データの還元 44市町村 ・ヘルスケアポイント事業活用市町村数 30市町村 ・年齢調整収縮期血圧平均値の低下 男性：122.7mmHg 女性：116.1mmHg
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>4月～12月 分析データを確保するため、アプリ利用に向けた周知・広報</p> <p>12月 アプリ利用者に対するアンケートの実施（実施期間：12月1日～12月15日）</p> <p>②実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやラジオ等を活用した広報の実施 ・アプリダウンロード数 34,360人（10月末）[令和2年度末比：25.9%増]
6	今後の予定	<p>令和4年1月 ・アプリ管理システムから令和3年1月～令和3年12月分のデータの抽出及び分析</p> <p>・アプリのアンケート機能を活用したアンケート結果のデータ抽出及び分析</p> <p>令和4年2月 ・ヘルスケアポイントの活用に向けた検討会の開催</p> <p>（令和3年度シーズンの分析・評価及び各市町村への還元資料の検討を行う）</p> <p>令和4年3月 ・各市町村へデータ還元及び分析結果の報告</p>

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

4 かかりつけ医及び地域の薬局と連携した保健事業（事業区分：C） ※令和3年度都道府県ブロック会議資料の先進事例の1つとして紹介。

No.	項目	内容															
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域薬局が保険者業務の一翼を担うことにより、市町村の業務負担を軽減する一助とする。 ・ 保険者と薬剤師会、医師会との連携強化を図ることにより、薬剤の適正化や生活習慣病重症化予防の取組など、国保被保険者の疾病予防・健康づくりに向けた協力体制及び連携して保健事業を促進する仕組みを構築する。 															
2	予算額	2,150千円															
3	参加者等	・ 事業実施3市村（那珂市、笠間市、東海村）に在住する40歳から74歳までの国保被保険者															
4	評価指標	・ 薬局による特定健診未受診者への受診勧奨後、状況確認で特定健診を受診した方の割合が60%以上															
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>8月27日 事業説明会（Zoom開催） <ul style="list-style-type: none"> ・ 3地域薬剤師会会員、3市村事業担当者含め約40人が参加 </p> <p>9月 事業参加薬局募集、決定</p> <p>9月～令和4年2月 事業実施 薬局による特定健診未受診者への受診勧奨、重複・多剤服薬者への服薬指導（健康管理支援）</p> <p>②11月末時点の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加薬局数 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">実施市町村</th> <th style="width: 20%;">R3参加薬局数</th> <th style="width: 15%;">R2事業実施 薬局数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東海村</td> <td>7※1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>那珂市</td> <td>17</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>笠間市</td> <td>14</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: R3年度は東海村内のひたちなか薬剤師会会員薬局に限定しているため減少(11薬局中7薬局参加)</p> <p>※2: 服薬指導(健康管理支援)を実施した薬局数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受診勧奨状況（薬局から市村へ受診勧奨状況の報告があった分） 那珂市（3薬局分）：受診勧奨件数50件 （うち特定健診の受診・予約に繋がった件数3件） 東海村（1薬局分）：受診勧奨件数15件 （うち特定健診の受診・予約に繋がった件数1件） 笠間市：薬局からの状況報告なし ・ 重複・多剤対象者への服薬指導（健康管理支援） 笠間市から対象者60名に通知を送付。参加希望者2名（昨年実施者）に対しては、薬剤師が処方薬に対する不安や服用方法、飲み合わせや健康面についての支援を実施中。 	実施市町村	R3参加薬局数	R2事業実施 薬局数	東海村	7※1	14	那珂市	17	10	笠間市	14	11	計	38	38
実施市町村	R3参加薬局数	R2事業実施 薬局数															
東海村	7※1	14															
那珂市	17	10															
笠間市	14	11															
計	38	38															
6	今後の予定	令和4年3月 県薬剤師会、3市村からの実施報告書の確認、薬局への手数料支払い 県内各市町村へ事業実施結果の情報提供															

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

5 県栄養士会との合同研修事業（事業区分：D）

No.	項目	内容																																										
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源である地域薬局や管理栄養士等の有資格者との連携体制を構築し、国保被保険者の生活習慣の改善や、健康寿命の延伸を図る。 ・ 特定保健指導の実施率向上や医療費適正化の取組強化を図るため、管理栄養士や薬剤師等の有資格者が特定保健指導の実施方法などを学び、保険者と連携した新たな取組を実施する。 																																										
2	予算額	600千円																																										
3	参加者等	・ 県内市町村職員、管理栄養士、薬剤師等の有資格者																																										
4	評価指標	・ 管理栄養士等の有資格者と連携した市町村国保の保健事業に取り組む市町村数 10市町村																																										
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>10月～11月 研修会参加者募集（各市町村、県薬剤師会、県栄養士会）</p> <p>11月18、19日 茨城県栄養士会との合同研修会開催（レイクビュー水戸） 市町村職員、県栄養士会会員、県薬剤師会会員等が参加 ※現地受講及び後日録画配信受講の2形式により実施</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">日程</th> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 40%;">テーマ</th> <th style="width: 15%;">講演者</th> <th style="width: 10%;">時間</th> <th style="width: 15%;">形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日目</td> <td>演習</td> <td>動機付け・継続支援演習</td> <td>澤田樹美准教授</td> <td>90分</td> <td>対面 HP配信</td> </tr> <tr> <td>1日目</td> <td>講義</td> <td>指導に必要なカウンセリングマインド</td> <td>正保春彦教授</td> <td>90分</td> <td>対面 HP配信</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>講義</td> <td>特定保健指導における栄養指導のスキルについて</td> <td>石川祐一教授</td> <td>90分</td> <td>対面 HP配信</td> </tr> <tr> <td>2日目</td> <td>講義</td> <td>栄養士が知っておくべき検査値のよみ方・捉え方</td> <td>石川祐一教授</td> <td>90分</td> <td>対面 HP配信</td> </tr> <tr> <td>HP配信</td> <td>講義</td> <td>茨城県栄養士会とつくば市による食生活改善指導事業の成果について</td> <td>茨城県栄養士会</td> <td>30～45分</td> <td>HP配信</td> </tr> <tr> <td>HP配信</td> <td>講義</td> <td>古河市薬剤師会と茨城県介護支援専門員協会古河地区会による在宅療養者への服薬指導料等の取組について</td> <td>茨城県薬剤師会</td> <td>30～45分</td> <td>HP配信</td> </tr> </tbody> </table> <p>②実施結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地参加受講者 18名（18日9名、19日9名） ・ 録画配信受講者 144名（12月6日から12月26日まで茨城県栄養士会HP上で配信） <p style="text-align: right;">計 162名（うち管理栄養士等の有資格者137名）</p>	日程	区分	テーマ	講演者	時間	形式	1日目	演習	動機付け・継続支援演習	澤田樹美准教授	90分	対面 HP配信	1日目	講義	指導に必要なカウンセリングマインド	正保春彦教授	90分	対面 HP配信	2日目	講義	特定保健指導における栄養指導のスキルについて	石川祐一教授	90分	対面 HP配信	2日目	講義	栄養士が知っておくべき検査値のよみ方・捉え方	石川祐一教授	90分	対面 HP配信	HP配信	講義	茨城県栄養士会とつくば市による食生活改善指導事業の成果について	茨城県栄養士会	30～45分	HP配信	HP配信	講義	古河市薬剤師会と茨城県介護支援専門員協会古河地区会による在宅療養者への服薬指導料等の取組について	茨城県薬剤師会	30～45分	HP配信
日程	区分	テーマ	講演者	時間	形式																																							
1日目	演習	動機付け・継続支援演習	澤田樹美准教授	90分	対面 HP配信																																							
1日目	講義	指導に必要なカウンセリングマインド	正保春彦教授	90分	対面 HP配信																																							
2日目	講義	特定保健指導における栄養指導のスキルについて	石川祐一教授	90分	対面 HP配信																																							
2日目	講義	栄養士が知っておくべき検査値のよみ方・捉え方	石川祐一教授	90分	対面 HP配信																																							
HP配信	講義	茨城県栄養士会とつくば市による食生活改善指導事業の成果について	茨城県栄養士会	30～45分	HP配信																																							
HP配信	講義	古河市薬剤師会と茨城県介護支援専門員協会古河地区会による在宅療養者への服薬指導料等の取組について	茨城県薬剤師会	30～45分	HP配信																																							
6	今後の予定	<p>12月 録画配信受講希望者へ視聴用URLの送付 参加者アンケートのとりまとめ</p> <p>令和4年1～2月 管理栄養士等の有資格者と連携した保健事業を実施している市町村数の調査 県内各市町村、県薬剤師会、県栄養士会等あて成果報告・情報提供</p>																																										

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

6 データヘルス計画の標準化に向けた現状把握事業（事業区分：E）

No.	項目	内容
1	目標	・「標準化ツール」を活用し、「データヘルス計画」の中間見直しを行う。
2	予算額	997千円
3	参加者等	・第2期データヘルス計画の中間見直しを行う3市町（阿見町、稲敷市、つくばみらい市）
4	評価指標	・健康課題と保健事業の紐づけの明確化 ・健康課題の解決につながる保健事業の組み立ての検討
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>10月 打合せ（「データヘルス計画標準化ツール」について） 「データヘルス計画標準化ツール」、納品標準化ツールの入力作業（3市町） ヒアリング（1回目）：標準化ツールの入力結果について、県、国保連合会の介入方法について</p> <p>11月 標準化ツール修正及び追記作業</p> <p>②実施結果（標準化ツール入力（1回目）後）</p> <p>・市町村のデータヘルス計画の実情把握（健康課題に対する目標の記載の有無や、目標に向けた事業の紐づけ等）</p>
6	今後の予定	<p>12月 ヒアリング（2回目）：標準化ツール修正結果について</p> <p>令和4年1月～2月 ヒアリング（3回目）：標準化ツール修正結果について （稲敷市等へ訪問し、対面にて修正結果等を解説）</p> <p>令和4年1月～3月 都道府県向け研修会開催（東京大学主催）</p> <p>令和4年3月 データヘルス計画の中間見直し完了（阿見町、稲敷市、つくばみらい市）</p>

保険者努力支援制度に係る茨城県保健事業の取組状況について

7 ICTを活用した糖尿病性腎症等重症化予防事業（事業区分：F）

※全国34都道府県でモデル事業を実施し、国及び全都道府県による投票の結果、本県事業は第3位。

No.	項目	内容
1	目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国保被保険者のQOLを維持する。 ・ 人工透析への移行を防ぐことで医療費適正化を図る。
2	予算額	6,398千円
3	参加者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2市（常総市、行方市）に在住する40歳から70歳までの国保被保険者17名（常総市11人、行方市6人） ・ 慢性腎臓病（CKD）の病期が中等度から高度の該当者
4	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者のプログラムの完遂率 90% ・ 生活習慣の改善率 80% ・ 塩分摂取量の減少
5	実施状況	<p>①スケジュール</p> <p>8月 参加者募集、決定</p> <p>9～10月 管理栄養士による食事改善指導（毎日3食のLINE指導、週1回のZoom面談※）</p> <p>11月 管理栄養士によるフォローアップ（週1回のZoom面談※）</p> <p style="padding-left: 20px;">※月1回、糖尿病療養指導士又は薬剤師が面談に同席 適宜、かかりつけ医への情報提供、参加者の定期検査等の状況確認</p> <p>②実施結果（保健指導開始9週目時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事改善指導の離脱者なし。 ・ 17名中13名において1週間の平均塩分摂取量減少。（約4割減：1名、約3割減：3名、約2割減：4名 等） ・ 肥満者（17名中8名）のうち、3名において顕著な減量（1.5kg～2.7kg減）。 ・ 家庭高血圧対象者（17名中4名）のうち、4名において収縮期血圧/拡張期血圧が減少。 ・ 糖尿病療養指導士5名、4薬局（薬剤師4名）、病院薬剤師1名が参加（管理栄養士7名は委託業者先で再委託）。
6	今後の予定	<p>12月 糖尿病療養指導士・薬剤師による定着度調査（Zoom面談）</p> <p>令和4年1月以降 茨城県糖尿病対策推進会議（事務局：茨城県医師会）での成果報告</p> <p>令和4年3月 市町村及び関係機関への最終成果報告</p>

保健福祉部厚生総務課国民健康保険室国保G (029-301-3172)

研修会やアドバイザー派遣により、市町村の保健事業の取組を支援し、糖尿病の重症化予防などの疾病対策を推進します。

保健指導スキルアップ研修会

- 対象：市町村保健師・管理栄養士、医療機関看護師等
計4回、100名程度
- 内容：受診勧奨困難事例への対応等の講義及び保健指導演習（オンライン）

重症化予防アドバイザー派遣

- 対象：3市町村 [R2からの継続支援：北茨城市、高萩市、美浦村]
1市町村 [R3新規支援：大子町]
- 内容：保健事業の実施体制や実施方法・健康指標等のデータ分析
データ分析やヒアリングに基づく助言・改善提案
フォローアップセミナー [継続・新規市町村合同（オンライン）]



- 対象者の医療機関受診率向上
- 定期的な通院支援

- かかりつけ医と連携した生活習慣改善の取組支援

- 糖尿病の重症化予防
- 腎機能の低下、人工透析への移行防止

保健福祉部厚生総務課国民健康保険室国保G (029-301-3172)

県内市町村国民健康保険加入者の過去6年間（H27～R2）の健診データやレセプトデータを分析し、医療費適正化の取組を強化します。

内 容

医療費における県内の傾向や市町村間の地域差分析など、地元大学と連携した医療・健康情報データの分析

- ①過去6年間の医療・健診データのベータベース化：約70万人／年 × 6年分
- ②データの見える化：県内市町村間の比較について、地図やグラフ等で表示
- ③分析結果に基づく市町村への助言による保健事業推進支援：対象者の絞り込みや事業の優先順位付例：糖尿病、高血圧、脂質異常の対象者リストの作成、令和2年度のデータ分析結果概要の提供

- 効果の上がる保健事業の介入対象者の明確化
○的確な事業実施による医療費増加の鈍化・県民の健康づくりの推進



保健福祉部厚生総務課国民健康保険室国保G (029-301-3172)

かかりつけ医及び地域の薬局と連携し、特定健診の受診勧奨など、市町村の保健事業へのアクセス向上を図り、生活習慣病の予防等を推進します。

内容

モデル3市村（那珂市、笠間市、東海村）の国保被保険者を対象として、通院中の国民健康保険被保険者が薬局来訪時に、服薬指導（残薬確認や適正服薬等）に加え、以下①及び②の支援を実施

- ①特定健診未受診の方への受診勧奨・支援
- ②重複多剤服薬者への服薬相談（健康管理支援）

※保険者と情報共有し健康管理支援を行うことについて、被保険者から同意を得た上で実施



○モデル市町村国保と、医師会、地域薬剤師会との連携促進による各種保健事業の推進

○かかりつけ医、薬剤師と市町村の連携による被保険者の健康づくり、重症化予防や医療費適正化の推進



コロナ禍にあっても、国保被保険者の孤独や孤立を防ぎ、市町村の保健事業を推進するため、管理栄養士及び薬剤師等の専門職を対象にした研修会を開催します。

内 容

秋以降、集合形式及びWEB形式を組み合わせて研修会を開催。

○対象：管理栄養士、薬剤師、市町村保健師等 約100人

- 内容：①特定保健指導における
②栄養士会が知っておくべき検査値のよみかた・捉えかた
③指導に必要なカウンセリング
④動機付け・継続支援演習
⑤県栄養士会の取組事例紹介（市と連携した後期高齢者のフレイル予防）
⑥県薬剤師会の取組事例紹介（薬剤師とケアマネージャーとの連携による残薬防止等）

10



- 保険者が、管理栄養士等の有資格者との連携体制を構築し、国保被保険者の生活習慣の改善や健康寿命の延伸
○管理栄養士等の有資格者と保険者との連携による特定保健指導の実施率向上や医療費適正化の取組の強化



データヘルス計画の標準化を実現するため、県内3市町村のデータヘルス計画の現状把握や分析を行い、PDCA検証体制の確立を図ります。

内 容

東京大学未来ビジョン研究センターと連携し、以下①及び②を実施

①市町村に対する運営支援

- ・ 3市町（稲敷市、つくばみらい市、阿見町）に対する「標準化ツール」の提供・活用
- ・ 「標準化ツール」への転記方法や分析の視点等の助言

②各市町村へのデータヘルス計画の標準化のための研修会（オンライン）

対 象：各市町村国保主管課、保健事業主管課、県国保連等

内 容：3市町の支援を通じたデータヘルス計画の標準化に向けた本県の現状、今後の対応案 など



- 健康課題と保健事業の紐づきの明確化（データヘルス計画の標準化）
- 健康課題の解決につながる保健事業の組み立ての検討



保健福祉部厚生総務課国民健康保険室国保G (029-301-3172)

かかりつけ医や管理栄養士などが連携し、ICTを活用した生活習慣の改善指導を行い、人工透析への移行防止など、コロナ禍における重症化予防策を推進します。

内 容

- 1 通院時にかかりつけ医による各種検査の実施・指示書の作成
- 2 積極介入：事業着手～2か月目 [9月～10月]
 - ・LINE（毎食）、Zoom（週1回）を活用した管理栄養士（事業者）による食事の改善指導
 - ※糖尿病療養指導士及び地域薬局もオンライン面談に同席（月1回）
- 3 介入後のフォローアップ：3か月目～4か月目 [11月～12月]
 - ・管理栄養士（事業者）によるフォローアップ（月4回程度）【3か月目】
 - ・糖尿病療養指導士及び地域薬局による3か月間の取組状況の確認【4か月目】
- 4 かかりつけ医による事業実施後の各種検査値の改善状況の確認
- 5 地元食品メーカー等による食事改善指導の後方支援 [事業着手後、随時]
 - ・各種減塩商品等の紹介、提供

対象地域	常総市、行方市
参加者数	17名（定員20名）

- 完全非接触型の支援：LINE、Zoomを活用した食事の改善指導
- 孤独・孤立の防止：生活習慣病リスクを抱える対象者に寄り添った支援
- 専門家と地域の連携：医師会、管理栄養士、糖尿病療養指導士、地元企業等が連携



健康寿命日本一を目指し、県民や企業が取り組む新たな健康づくりプログラムの構築や、健康経営に取り組む企業に対する支援等により、県民総ぐるみの健康づくり運動を推進します。

プロジェクト1 ヘルスケアポイント事業

- ・ 県民総ぐるみで健康づくりができる仕組の運営
- ・ スマートフォンアプリの運用

プロジェクト2 いばらき健康経営推進事業

- ・ 健康経営に取り組む「いばらき健康経営推進事業所」の認定
- ・ 健康経営の普及
- ・ 啓発に係る研修会等の開催
- ・ 健康経営事業所の支援

個人

ウォーキングをする
健診を受診する
健康によい食生活
➡ ポイント取得!



企業

健康経営を推進する事業所単位で参加 (いばらき健康経営推進事業所)

- ・ 特定健診、がん検診の受診
- ・ 受動喫煙対策 (喫煙所の設置等)
- ・ ヘルスケアポイントの健康づくり

➡ 従業員へのボーナスポイント加算



実践

スマホアプリ活用
↓
ダウンロード

ポイントがたまる
メタボも解消!

検証

ビッグデータの活用
ヘルスケアポイントデータを活用した健康行動分析、市町村等への還元

効果

インセンティブの付与
県産品のプレゼント (個人)
いばらき健康経営推進事業所の認定